

大雨に対する農業技術対策

令和8年8月27日

鳥取県農業気象協議会

鳥取県農林水産部農業興局経営支援課

区分	予想される影響	対策の内容
大豆	1 生育抑制	(事前対策) 1 水田転換畑においては、培土等で額縁明きょが埋まっていないか確認する。 2 また、ほ場内に水が停滞しないように、額縁明きょと排水口を連結してスムーズに排水するよう施工する。 (事後対策) 1 冠水した場合は、一時的に畦畔を切って排水を促進する。
果樹	1 滞水による根いたみ 2 傾斜園の土砂くずれ	(事前対策) 1 豪雨による流水が集中してテラスや斜面が崩れそうな場合は、土嚢を積んで補強する。 (事後対策) 1 大雨後は、ほ場内の滞水が解消されるように部分的に溝を掘り、地表水の園外排水に努める。 2 テラスや法面の崩れたところは、早めに補修する。
野菜・花き	1 過湿による根いたみの発生及び生育停滞 2 高温多湿による病害の発生	(事前対策) 1 露地ほ場の額縁明きょ、ハウスへの浸水防止の溝が埋もれていないか確認し、排水対策に努める。 (明きょ・ハウス周りの溝が、用排水路に接続しているか確認) (事後対策) 1 浸冠水した場合は、早急にポンプ等で強制排水を行う。なお、用排水路からの逆流（バックウォーター現象）が生じた場合は、先ず、ほ場の排水口を塞いだ上で強制排水する。 2 過湿により根いたみが発生しやすいので、水が引いたら葉面散布剤の散布を行い草勢の回復を図る。ただし、葉面散布剤と農薬との混用は薬害を生じやすいので避ける。 また、根いたみにより吸水が阻害され、急激な気温上昇や日射量の増加で萎れるなど生育停滞が生じやすいので、必要に応じてこまめなかん水管理を行う。 3 高温多湿条件では、病害の発生が助長されるため指導機関と相談の上、追加防除する。

飼 料 作 物	1 湿害による生育の停滞	(事前対策) 1 水田転換ほ場では、冠水に備えて周囲に額縁明きよを施工し、水が停滞しないよう排水口へ確実に連結する。 (事後対策) 1 冠水した場合は、出来るだけ早くほ場外への排水に努める。
家 畜 管 理	1 飼料の変質、腐敗	1 降雨のため畜舎が湿り、不潔になりやすいので、畜舎内に雨水や汚水が入らないように畜舎周囲の排水に努める。 2 飼料は変質、カビが発生しやすくなるので保管場所には留意する。また、食べ残しのないように適正給与につとめるとともに残飼は除去する。 3 ハエ、蚊等の衛生害虫の発生が多くなるので、畜舎内外の清掃、消毒を励行し防虫対策を講ずる。

○大雨時の水路等の点検や見回りは行わないこと

- ・水路やほ場の点検・見回りは、足を滑らせて転落するなど、大変危険です。
- 対策は雨降り前までに済ませ、降雨中の見回り・作業は絶対に行わないでください。